

各 位

2026年6月9日
株式会社インプレス**「Hamamatsu Micro Maker Faire 2026」約 50 組の出展者を発表！**

2026年7月4日（土）浜松科学館（静岡県）にて開催！

インプレスグループで IT 関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、2026年7月4日（土）に開催する「Hamamatsu Micro Maker Faire 2026」の出展者、スポンサーを発表しました。

（詳細 ▶ <https://makezine.jp/event/makerfaire/hamamatsuMMF2026/>）



「Maker Faire（メイカーフェア）」は、新たなテクノロジーや様々な素材をユニークな発想で使いこなし、大量生産では作れないような、自分が本当に欲しいものを作り上げるメイカーの展示発表会です。2006年に米国サンフランシスコで初開催されて以来、世界 200 都市以上に広がりを見せています。会場には、びっくりするようなメイカーの作品を楽しむために、モノづくりに興味のある子どもから大人まで多くの方が集います。

「Maker Faire」のエッセンスはそのままに、地域のメイカーたちが出展し、どなたでも気軽に足を運べる小規模イベントが「Micro Maker Faire」です。今年で 6 回目を迎える「Hamamatsu Micro Maker Faire」では、音楽関連など、浜松ならではの特色を生かした展示が多数集結します。電子工作、ロボット、クラフト、アートなど、ジャンルを超えた多様な作品に直接触れ、メイカーとの交流を楽しむことができます。モノづくりの街・浜松ならではの熱気とあふれるアイデアを、ぜひ会場で体感してください。

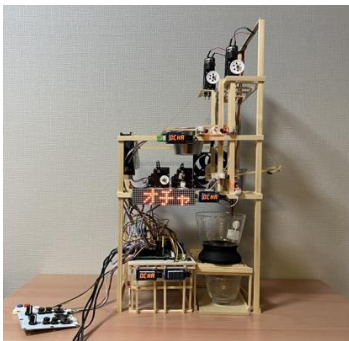
■ Hamamatsu Micro Maker Faire 2026 注目の出展作品

□ 人力 3D 映像 (ヒゲキタ)



1997年から自作のプラネタリウムと3D映像とドームを使った移動出張プラネタリウム投影を行っているヒゲキタさん。ヒゲキタさんの作品は、プラネタリウム用の直径4.2mのエアドーム。中に入り赤青の3Dメガネをかけてアナグリフ3D映像を見ることができます。3D映像は赤と青のLED光源に模型をかざしてできる影絵。模型を動かすことによって映像は飛び出して頭上を通り過ぎていき、映像の中に入っていくことが可能になります。平面動画や3D映画ではできない体験です。

□ お茶淹れマシン (門奈哲也)



門奈哲也さんが出展するのは、お茶淹れマシン。お茶淹れはエンターテインメントという視点で、機械で丁寧にお茶を淹れる動作によって、視覚からお茶に対する新たな価値を提案。お茶淹れという楽しみ方を提供し、興味を持ち、茶葉から淹れて飲むお茶の良さを伝えたいとのこと。

□ AI モジュラーシンセ / ARISE / 新 touch:waves (R-MONO Lab)

某楽器メーカーのもの作り同好会(部活)が、R-MONO Lab。今回は、次の3つの作品を出展します。



■ AI モジュラーシンセ : AI ドラムシーケンサーでドラムパターンの作成を支援し、また AI 音源で歌声など普通のシンセで出せない音色を合成も可能です。

■ ARISE : 音声認識・LED 制御を組み合わせたインタラクティブ作品。「声によって再起する魂」をテーマに、光と電子工作、スタンドグラス表現を融合しました。

■ 新 touch:waves : 画面にタッチするだけで演奏と映像が楽しめる音楽ウェブ・アプリです。

□ 目を守るためのプロダクト個人開発 (イシカワアキ)



イシカワアキさんは、「目を守る習慣」をテーマに、日常に自然に溶け込むケアデバイスを制作しています。パソコン作業やゲーム中に休息を促す機能など、無理なく続けられる体験を設計。目を守るためのプロダクトの電子工作と3Dプリントによるプロトタイプと開発過程を展示します。

□プロッタを改造して遊ぶ (Yara:Makers)



Yara:Makers は、浜松市に拠点を置く某メーカーの社内ものづくりクラブ。プリンタが普及する以前の 80 年代～90 年代にかけて活躍した描画装置、ペンプロッタという機器を、現代のカッティングプロッタと自作プログラムによる制御で再現します。今回は自作ソフトウェアによる体験型作品《SPIRO MAKER MINI》の改良版を展示します。

□微小世界の 3D タイムラプス撮影装置 (もくもくカメラ実験室)



「自然の鼓動を 3D で可視化」をテーマに活動する個人メイカー、もくもくカメラ実験室さんは、実体顕微鏡と Web カメラ 2 台、ラズパイを組み合わせ、微小世界を 3D のタイムラプスで記録する自作装置を出展します。市販機器では得られない「小さな世界の立体的な時間変化」を体験可能。会場では実機と構造図を展示し、小豆の発芽などの映像を 3D ビュアーで上映。生命のダイナミクスを 2D 映像にはない立体感と肉眼では追えない時間スケールで体感できるということです。

□PROJECT TRIMANX (PT.INDUSTRY)



東京都立新宿山吹高等学校の PT.INDUSTRY さんが出展するのは、肩に装着する、長さ約 50cm のスマートアーム『Trimanx』。転倒やルート逸脱をリアルタイムで検知し、GPS 位置情報付きの SOS 信号を自動発報。先端部を付け替えるだけで、さまざまな状況に対応できます。手首の専用端末でジェスチャーのみで操作でき、ハンズフリーで山の安全を守ることが可能で、プロトタイプ of 動作デモを予定しているとのこと。

■ イベント概要

名称：Hamamatsu Micro Maker Faire 2026 (ハママツマイクロメイカーフェア 2026)

会期：2026 年 7 月 4 日 (土) 10:00-17:00

会場：浜松科学館 (静岡県浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3)

入場無料

主催：浜松科学館、ファブラボ浜松/テイクスペース、株式会社インプレス

X ハッシュタグ：HamamatsuMMF2026

ウェブサイト：<https://makezine.jp/event/makerfaire/hamamatsuMMF2026/>

■ 本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

Maker Faire 事務局 (広報担当)：pr@makejapan.org

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress

Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。